

平成29年度 成さん亥さん達の田作り～第11期大椎っ子田んぼ、第8期あすみっ子田んぼ 草取り編～

5～6cmだった苗が1ヵ月たち、30cmほどに成長し、1本植えたものが10本、20本と分けつしている稲の姿に子どもたちもびっくりしていました。なにより苗しか植わっていなかった田んぼにコナギなどの草がびっしりと生えていて、田んぼの変わりように驚いていました。自然観察でも田植えの時期とは違った生き物も見つけ、季節ごとの自然の変わりゆく姿を体感したようです。田んぼのたくさんの不思議を発見し、新たに出会った生き物に名づけた子どもたちの感想とイラストです。

◎大椎小学校 (7月12日実施)

★田んぼの深い方が水温が高く草もたくさん生えていて、浅い方が水温も低く草もあまり生えていなかった。稲にまぎれてニセモノがあり、探すのが楽しかった。深い所はひざまでもぐってしたが、浅いところはふくらはぎくらいだった。自然観察では、ミズミズ、死にガニ、しましま子メダカ、あばれガエル、顔デカオタマジャクシなどがいた。田んぼには多くの生き物やその周りにも多くの生き物がいて、多くの自然に囲まれているんだと思った。(Y.N)

★稲の観察をすると、1本植えた苗が最高21本になっていた。次は楽しみにまっていた草取り。田んぼに入る時、「ぬるい」などの声が聞こえた。草はとてもぬきやすく、少し引っ張ると簡単にぬけた。男子の田んぼに足を入れてみると、とても冷たかった。みんなも「冷たい」と言っていた。水路の水も冷たかった。また草取りをやりたいと思った。(Y.I)

★田植えよりやるのが少ないかなと思ったけど、草取りも大変だった。稲もすぐくのびていて、稲以外の植物がたくさん生えていた。田んぼにはたくさんの虫がいて入るのが嫌だったけど、なれてきて草をたくさんとれた。草は5種類以上あった。稲以外の草に栄養をとられないように草をぬくんだと聞いた。稲は何倍もの長さで成長したものと全然のびていないものがあった。のびている田んぼの水温は32度もあったけど、のびていない田んぼは20度しかなかった。日光の当たり方で稲の成長にちがひがあると聞き、なぜかを調べたい。自然観察ではじっくりと観察できた。6ミリほどで動きが活発でよくひっくり返る生き物を「水中ちよちよこ」と名づけた。(K.H)

★田植えの時の水は暖かかったけど今回は冷たかった。男子田んぼの苗は大きくなっていなかったけど、女子田んぼは大きくなってた。たぶん、田んぼの大きさによって苗の育ち方がちがうのだと思う。男子田んぼは大きくて育ちにくいけど、女子田んぼは小さいから苗も育ちやすいんだと思う。今度カカシを作るので、行ってみたい。(E.S)

★メダカみたいな生き物をつかまえ「みかくにん生物01」、カエルは死んだふりがうまいので、「死んだふりがうまい君」と名付けた。ぼくたちの田んぼは水が冷たくて苗もあんまり育っていなかった。女子田んぼの水は暖かくて苗もよく育っていた。水温によって育ちかたに違いがあることがわかった。雑草をとることがむずかしかった。(S.Y)

★とても暑かったけど、お米が早く成長してほしいので草取りを頑張った。むずかしかったことは、稲をふまないようにやったこと。田んぼの中には生き物がたくさんいた。田植えのとき1本ずつ植えたものが増えていてびっくりした。1番多かったのは21本で、みんなとてもびっくりしていた。稲刈りの時に何本に増えているのか楽しみだ。(K.Y)

★とても暑くてたおれそうになったくらいだ。自然観察では田植えのときよりも生き物が少なく感じたけれど、「スライム」や「エッグママ」に会えてうれしかった。前と変わらない大きさと色だった。草取りのまえに稲の観察をした。私たちが植えた最高は16本になっていたが、となりの田んぼでは21本というしょうげきてきな数だった。1本の苗がこんなに増えるなんてビックリした。稲の周りのざっ草を手ぎわよくきれいにぬいたらほめられたので、うれしかった。足を洗う水路の水は田んぼの中よりも冷たくて気持ちよかった。(Y.Y)

★思いっきり引っ張って草をぬこうとしたら、思ったよりもやわらかくて、土が服にかかってしまった。そのあとは順調に草をとり続けすごくキレイになった。田んぼの中の生き物を見ていたら、すごく大きいグモがいてびっくりした。(H.M)

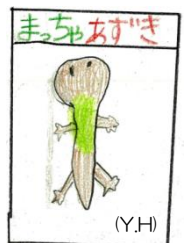
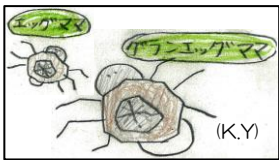
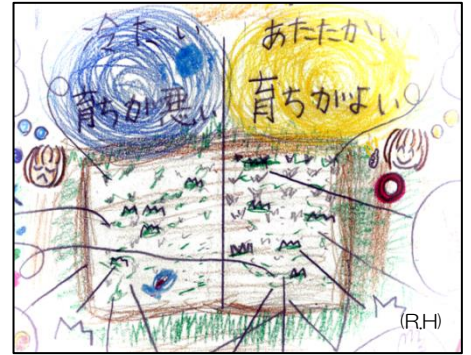
★田植えのときの苗は短かったけど、1ヵ月ですごく成長していました。だけど、なぜか成長していない稲もありました。ニセモノもありました。稲は11～13センチくらいしかないのにニセモノは20～25センチものびていました。そのニセモノもぬくことにしました。田んぼにはカエルやオタマジャクシがいました。(I.T)

★きれいな生き物が田んぼにいてと思ってこわかったけど、田植えで田んぼに入ったことを思い出すぐに入れた。草もたくさんとれた。けどだんだん足がぬげなくなり、3分くらい身動きできなかったが、足のぬきかたを教えてもらい歩けた。田んぼの中にはメダカやオタマジャクシが何十匹もいてメダカやオタマジャクシの樂園のようだった。草もたくさんとってすがすがしい気持ちになった。(Y.K)

★稲がすぐくのびていてビックリしました。田んぼの中はグチャグチャして気持ち悪く草取りはあまりできませんでした。稲に対して草は敵なのに上手にぬけなかったのがもったいなかったです。次はしっかりやります。(R.I)

★田んぼに入ったしゅんかん、体がふるえたけど、だんだんなれてきて草取りを始めた。草取りでむずかしかったことは、ニセモノをみつけることと稲をふまないようにすることだった。(H.Y)

★雑草はネギみたいなものやミントみたいなものがあった。田んぼの中には水グモやオタマジャクシやメダカがとても活発に動いていた。よく見たら生まれたてのメダカもいた。おなかが赤いメダカもいた。シオカラトンボもたくさんいて夏になると生き物がとても活発になることがわかった。稲もとてもものびていた。(Y.U)



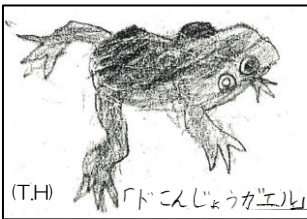
◎あすみが丘小学校 (7月5日実施)

★ギラギラかがやく太陽の下、暑くて大変だったけど、みんなががんばっていたので、私も弱音をはかずにがんばった。稲と稲の間を通るので、みんなががんばって植えた稲がだめにしてしまわないか、稲をふまないか心配でしんちょうした。でもざっ草ぬきをしないと、栄養がうばわれて、稲が育たなくなってしまうのでこわい気持ちをかくして、一番最初に田んぼに入った。でも、あまりはばはせまくなくて、入りやすかった。ざっ草もたくさんぬけたので気持ちよかった。(M.I)



★たけいさんの「プロの人でも稲が目にはささり失明してしまった人がいる」というお話を聞き、気が引きしまった。「ゆっくりと」「しんちょうに」稲をかきわけながらすすんだ。雑草を抜いていくと手にもちきれない量になった。少しの時間で草の山ができた。たけいさんが田に生えている雑草を手で「これ食べれるよ」と言い、その場で食べてしまったことにびっくりした。私も友だちといっしょにチャレンジしてみたが、味と食べていいのかの不安ではきだしてしまった。(F.T)

★稲が思っていたよりもびびてびっくりした。田んぼの草は根からとるとすぽんとぬけた。草は根をつつむように持ち上げるときれいにぬけた。私はこのように草をとることもあるのは初めて知った。田んぼで米をつくることは、とても大変なことだと感じた。これからもがんばって育てて、元気にお米が育て、一番最後まできちんと育てたい。(R.N)



★5月から2ヶ月で予想よりざっ草がたくさんあった。稲も予想よりのびていてびっくりした。植物の成長の早さを知った。たくさんつながったやつや、単体でいるやつなどいろいろな雑草があった。前回もしんちょうにやったけど、今回は稲がまわりにあったからもっとしんちょうした。ざっ草をぬくときれいにとれ、まわりのざっ草もぬきやすくなり気持ちよかった。田んぼがどのように変わっていくか楽しみだ。(R.S)

★田んぼにいろんな草がありました。稲ではない草をぬく、とお話をされても稲とちがいがわかるか心配でした。けれど、実際に行くと稲は他の草とちがうぞと言うように、すくっと生きているようでした。他の草も一生けん命生きているようで、ぬくのは気が

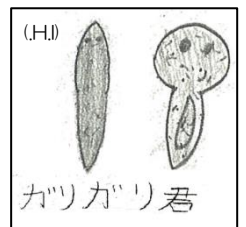
ひけました。するとボランティアのお母さんが、「しずめると肥料になるよ」といっていたので、ぬいても役に立てるのかと感心しました。田んぼの中を歩いている時に友達のはまりました。みんなで助けたら、その土は他の所の土とちがって、ねん土のようでした。そういう土のちがいがいも調べてみたいと思いました。農家の人の苦勞を知りました。暑いなか、力仕事をしているのはすごいし、大変だとわかって、感しゃしないといけないとわかりました。(Y.M)

★草とりでは、まわりにある草を取ってまとめました。それが終わって田んぼの中に入りました。ざっ草がいっぱいはえていて、それを取りました。赤シャツおやじが声をかけてきて、さっき取った草ではないけれど、他の所にある草を取りに行きました。オレンジ色のシャベルみたいなものの3倍位のもので、草を集めました。草がおかれるにつれ、どんどん重くなって、それだけで疲れてしまいました。疲れたけれど、良いけいけんをしたと思った。また、手伝えることがあったら、声をかけてくれるとうれしい。また、手伝えるのなら、その人たちのためになるようにがんばって手伝いたいです。田んぼは疲れれるけど、良いけいけんができることもあるんだと初めて思えてよかったです。(H.M)



★いねは植えた時よりのび、ざっ草もたくさんはえていた。「わ～。とってもざっ草がある」と口にしたほどはえていた。田んぼに入ると、この前入った時のように、少しひんやりしていて、べちょべちょしていた。少しずつ前に進んで、ざっ草を取った。入る前に説明してくれていた「いねの先のほうに目をさすと失明してしまう」と言う言葉を頭に入れてざっ草取りをした。色々な種類のざっ草があって、田んぼでしか見たことのない草もあった。ざっ草をいっぱい取っているうちに、どんどんたまって、とても重くなった。いねを植えるのもたいへんだったけど、ざっ草取りもたいへんだった。農家の人はたいへんな思いをしてやっているんだなと思った。(H.Y)

★すごい量のざっ草がはえていてびっくりした。稲はすごくのびていて、はやくももっとも高くのびてほしいと思った。稲のとなりには、すごくざっ草があったので、取る量が多くてすごく疲れました。農家の人はすごくがんばって米を作っているんだなと思った。ざっ草が多いけど、稲が元気に育ってほしくて、全部ぬきたいと思った。すごく稲が育っていたので、次にどのくらい成長しているか、楽しみだ。(N.A)



★5月と比べると、トンボが多かったり、オタマジャクシよりかえるが多くなったりしていました。秋になったらどうなっているか楽しみです。(A.T)

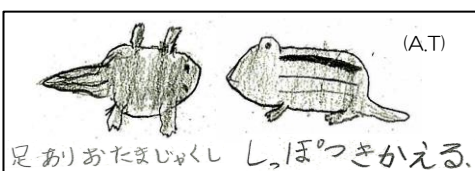
★めずらしい生き物がたくさんいてびっくりしました。とくに、かえるにしっぽがはえているのがおどろきました。ゆたかなかんきょうをこれからも作りたいです。(Y.K)

★新しい生き物はあまり見られなかったけど、レアなオタマジャクシが見られて良かったです。次行く時、新しい生き物がいるか楽しみです。(Y.K)

★5月にいった時よりも、おたまじゃくしが少なくなりトンボが多くなっていて、ビックリしました。カエルをいっぱい見つけました。暖かくなって生き物が変化するのがすごいと思いました。(H.H)

★自分が今までに見たことのない生き物ばかりだった。もっとたくさんの生き物を見つけてみたい。(M.W)

★5月の時よりも色々な虫がいて楽しかった。ふだんあまり見えない生き物を見る事が出来てうれしかった。(H.I)



★5月の時は、水グモがいっぱいいたのに、7月に行ったらそんなに見かけなかったの、何でいないんだらうと思いました。次の田んぼでも何か変化があるか見てみたいです。(T.H)

★5月のころはヤゴだったけど、7月にはもうトンボになっていてすごいなと思いました。草の所にヤゴのぬけがらがりました。次回の田んぼも楽しみです。(Y.M)



里山たんけんレポート

第 210 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2017年7月2日(日) 晴れ

子ども達が楽しみにしているカブトムシは雌 1 頭、ノコギリクワガタ雄 1 頭が見られただけでした。まだ早いようです。触角の長いキボシカミキリ、カマキリやナナフシモドキの幼虫などたくさんの虫との出会いもありました。又マトラノオは満開ですが花が立ち上がっているのはわずかに5株だけでした。湿地環境が失われつつあるようです。道々、草木の葉の上には小さいシュレーゲルアオガエル、ニホンアマガエルの子ガエルがいっぱいでした。ホトトギス、ウグイス、メジロ、オオヨシキリ、キビタキ、ホオジロの囀りが聞こえていました。下大和田谷津では生息する動植物を記録していますが苔については手つかずになっていました。今日のはかねてお願いしていた中村俊彦先生にお出でいただいて苔の採取や標本の作り方について教えていただきました。今後、観察会の際など採取して調べていただきます。また、貝収集入門図鑑「海で貝拾ってみませんか」を著わした毛木仁先生も見えてお昼に歓談しました。



(参加 大人10名、小学生2名、幼児1名；報告・写真：網代春男)

第 208 回 下大和田 YPP「田の草取り」

2017年7月15日(土) 晴れ

6月10日に続いて2回目の草取りです。6月10日とは草の伸び方も草の種も異なってきています。びっしりと生えたコナギ、背高く伸びたアメリカセンダングサ、ウスグチョウジタデ、オモダカ、ヘラオモダカ、イヌビエ、田の中に這うように伸び広がるムツオレグサなどが目立ちます。猛暑の中での作業となり途中山の中の日陰で休憩時間を執るなどしましたがあまりにも暑く午前中で終了することにしました。コナギはお目こぼしをすることにして大きい草を取りました。稲も草も大きく成長しています。稲を痛めないために来年はもう少し早い時期に草取りをした方がよさそうです。



(参加 大人12名、小学生5名、幼児1名、
報告 網代春男、写真 田中正彦)

第 146 回、147 回 小山町 YPP「緑米の田植え・田んぼの草取り」

2017年7月8日(土)、22日(土) 晴れ

本格的な暑さの中、元気な5年生が田んぼに来てくれました。山際の湧き水豊富な場所に位置し、トンボたちの楽園となっている小さな田んぼに、お隣の田に残されて大きくなった苗と、その場に地撒きし育った稲を少し移して、手植えしました。その後は湧き水の麓を整備して小さな池を3つ作り、それらを順番に経由して水路に繋がる水道を、こども達が上手に作りました。22日は、学校田んぼの草刈り後、ため置きし、乾かして置いた草を、肥料として田んぼに戻す作業と、草取りをしていない田んぼの草取りを行いました。同じ田んぼでも場所によってヒシの葉、コナギ、イグサ等、生えている草が違い、全ては取り切れないので今回はコナギがびっしりと生えている所を集中して草取りをしました。



(参加 7月8日(土) 大人5名、小学生3名)
(参加 7月22日(土) 大人6名、報告 稲富理枝)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月 2日 ニイニイゼミ、カラズアゲハ、オニヤンマ（赤シャツおやじ）。
- 7月 15日 林縁でヤマユリが開花。（松下）。
- 7月 18日 地元の方の田んぼでコシヒカリ出穂、花も咲きだす（松下）。
- 7月 20日 奥の水路の水たまりの水を飲みみにコジユケイが来る（たんぼぼ）
- 7月 23日 コシヒカリ出穂。（たんぼぼ）。

下大和田

- 7月 2日 カフトムシが出現しました。（網代）。
- 7月 3日 ニイニイゼミが鳴き始め、ハクロトンボが飛び始めました（網代）。
- 7月 18日 ヤマユリが開花しました（網代）。
- 7月 30日 オニヤンマがバトロールを始めました（網代）。



イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト（YPP）のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

- ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。
- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
 - ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
 - ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 209 回「かかしづくり」

コシヒカリや古代米の稲穂がグングン成長して垂れ始める季節、収穫まで田んぼを見守ってくれるかかしを作ります。グループに分かれて思い思いのかかしを作しましょう。

日時：2017年8月12日（土）9時45分～14時 *小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45（JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円）

持ち物：弁当、飲み物（暑い季節なのでたっぷり）、長靴（長めのもの）、帽子、軍手、敷物、もしあれば、かかしに着せる古着（顔制作用に白い布があると良いです）、帽子、手袋など。

参加費：ちば環境情報センター会員および家族 100円、一般 300円、小学生未満無料

主催：ちば環境情報センター 共催：ちば・谷津田フォーラム

▼第 212 回 下大和田谷津田観察会とごみ拾い

トンボの調査をメインに行います。トンボは捕えてマークをして放し、記録します。ツクツクボウシが鳴き、モズが高鳴く谷津を巡ります。

日時：2017年9月3日（日）9時45分～12時 ☆小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上）

集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45（下大和田 YPP に同じ）

持ち物：持ち物：筆記用具、飲み物（暑いのでたっぷり）、長靴（長めのもの）、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費：100円（小学生以上、資料代など）

主催：ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時：2017年8月13日（日）、8月18日（金）いずれも9時45分～15時

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上） 持ち物：飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催：主催：ちば環境情報センター

▼小山町 YPP

YPPの8月の活動はお休みですが、「学校田んぼかかし作り」を行います。

8月18日（金）10時～12時 りんどう広場集合（雨天の場合、予備日①8月21日（月）、予備日②22日（火））

編集後記 気象庁によると、関東の梅雨が明けは7月19日頃でした。その後の日差しは大地を激しく叩く様！これに覚醒し、谷津田のそこかしこ、まるで早送りの如く緑が繁茂して参ります。春とは一変した田んぼに、子どもたちは、恐る恐る足を踏み入れ、草取りに挑戦し、自ら命名した生物たちと再会を果たしました。

コナギらに 足とられる子の声 谷津渡る。。。

いや、いや、彼らの声は、余裕で蝉時雨を凌駕しておりましたよ。眩しい季節です！（赤シャツおやじ）